

話題のひろば

<II>

地方の時代の一ページを開く



写真上右／全国から90人が集まった全体会議 上中／挨拶する江川昇金沢市長 上左／金子健樹おあしす代表(上)とゲストの詩人の水野スウさん(下) 下右／経営・編集・広告・地域に分れた分科会 下左／第2日目の全体会議では分科会の内容が報告

“地方の時代”を物語るよう都市でタウン誌が生まれ、育つことがあるが、各誌が交流を深め、誌面の質的向上を図ることを目的として、11月13、14日、第6回全国タウン誌会議が石川県・金沢市で開かれた。

全国タウン誌会議は毎年1回開かれ、'81年の神戸、'82年の宮崎に続き、今大会は金沢の“月刊おあしす”(代表・金子健樹さん)の運営担当により開催されたものである。

会場の金沢市文化ホールには、全国有力タウン誌40誌、代表者や編集スタッフの他、創刊を計画中の人们など約90人が集まり、活発な討論が展開された。

江川昇金沢市長や詩人の水野スウさんらが「意義ある大会に」と挨拶のあと、全体会議となつた。その後、経営問題部会、編集企画部会、広告営業部会、地域社会部会の4分科会に分かれ、各誌が抱えている問題点について積極的な議論がかわされた。更にその内容は、翌日の全体会議で発表され総括討議が行われた。

ローカル誌に対する関心や期待が高まる中で、地方ジャーナリズムとは何か、地域社会の中で何をなすべきかを改めて考察する機会として、タウン誌の新しい1ページが開かれたと言えよう。

□ 第6回市長杯争奪美術家野球大会

話題のひろば

<III>

白球飛び交った 熱い文化の日



写真上右／佐藤大会委員長の活の入った挨拶、左／早朝の光まばゆい中で、出場チームが全員集合
下右／榎忠さんによる祝砲 左／3年連続優勝をみごと飾った行動美術、監督の辻司さんがトロフィーを受賞

午前9時、選手入場とともに、佐藤廉大会委員長、鴨居玲副委員長、小泉康夫コミッショナーの挨拶のあと、榎忠さんによる祝砲が早朝のグランドにとどろいた。

第一試合は、モダンアートと神戸二紀の対戦、1対2で神戸二紀が、また第二試合は芸術学林対行動美術戦で、行動美術が3対0でコールド勝ちした。三位決勝ではモダンアートが、芸術学林が11対1で下した。正午すぎ、神戸っ子チーム対選抜チームによる親善ソフトボールでは神戸っ子チームが逆転(10対9)見事勝利をかざつた。優勝決定戦では最終回3対3の同点のため、抽選により行動美術が、昨年に続き3年連続優勝、チームワークの素晴しさを誇った。

□ 主な表彰選手は次の通り。

■最優秀選手賞・最優秀監督賞／辻(行動) ■最優秀投手賞／林(行動) ■打撃賞／前川(学林)

■敢闘賞／深尾(二紀)

風さわやかな秋晴れに恵まれた11月3日(祝)、第6回美術家野球大会が、加古川の川重グランドで開かれた。今年の出場チームは、神戸芸術学林、神戸二紀、行動美術、モダンアートの4チーム。日頃はアトリエに閉じこもつての“美の追求”に余念のない美術家たちだけに、この日ばかりはストレス解消と熱戦をくり広げた。

メリケンパークを ミナト神戸の新しい顔に

□出席者□

鳥居

幸雄

（△神戸市港湾局局長▽

嶋田

勝次

（△神戸大学工学部助教授▽

安達

昭三

（△元町P.R.委員会委員長▽

新谷 琢紀

（△彫刻家▽

高月 昭子

（△建築家▽

——かつて、神戸市の市民に親しまれてきたメリケン波止場が、今、新しくメリケンパークとして生まれかわるうとしています。すでに入江の埋め立て工事が始まり、着々と新しい公園づくりが進められていますが、この広大な公園が、本当に市民の憩いの場として親しみやすく、ミナト町神戸らしいたたずまいを匂わせる人間性豊かでロマンあふれた公園にと、多くの人々の願いと期待が寄せられています。この神戸の新しい顔——メリケンパークについて、日頃より関心を寄せられている方々に積極的なご意見をお願いしたいと思います。

「計画検討委員会」を設けて、さまざまな分野の人々に協力をえて話しあいを進めてきました。その結果、いろんな案が生まれて、その中にはSF的なアイデアもあり、現在若干の修正を加えて現実に可能な部分をまとめて、今回の基本的レイアウトができたわけです。

■ 日本初の本格的海洋博物館を核に

鳥居 メリケンパークの構想が生まれたのは5年程前になりますが、具体的にはどんな公園を作ればよいのかという方向を探るため、神戸大学の嶋田勝次先生を座長に、ブレーンストーミングによる「神戸港再開発

は、世界のいろいろな海洋博物館を観て回りましたが、ロンドンではグリニッジの海軍大学の中につて、海軍の歴史を縦覧できるようになっていますし、ただ単に港の歴史などだったら日本より古い所はたくさんありますので、メリケンパークの海洋博物館は少し趣きの異なるものにと考えています。東京には、船の博物館があるものの、本格的な海洋博物館というものはまだ日本にはありません。そこで、神戸では日本を含めた東洋を中心にして、日本初の本格的な海洋博物館づくりをめざしています。また、横浜には山下公園がありますが、神戸でこれ



高月 昭子さん



新谷 瑞紀さん



安達 昭三さん



鷲田 勝次さん

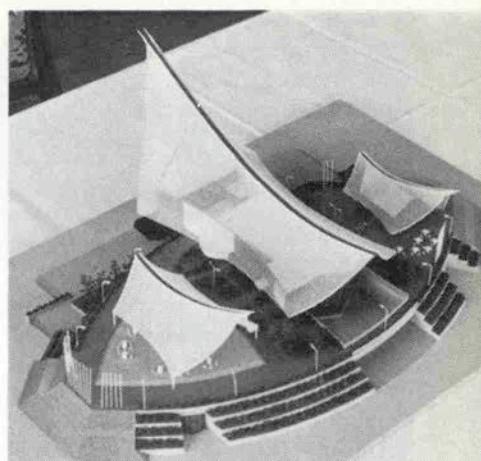


鳥居 幸雄さん

に匹敵するものにしたい、というのは、ポートアイランドが出来て、北公園、南公園が市民の憩いの場として親しまれるようになってきたものの、南公園には防災上の関係から10メートルの防波壁があり、海との接点、つまり、波打際の感覚がなくて、海辺の公園というのにはほど遠いんです。それに人工島へ渡るために神戸大橋があつて、もっと身近で歩いてすぐにミナトへ行けるような公園となると、元町のメリケンパーク以外考えられません。メリケンパークでは、南側に船と海がよく見えるようになると考へられており、北側は現在、各企業のコンペションを進めていますが、そこには、ホテルとショッピングセンター、その他の施設を建設して楽しいものにしたいと考えています。そして、メリケン波止場には、2つの上屋がありますが、これを壊さないで、若い学生や芸術家がさまざまなパーティやイベントに使用できるよう、マルチパークユースのホールとして解放したい。さらに公園ができる問題になるのは駐車場のスペースです。メリケンパークでは北側の2号線沿いに1000台のクルマが収容できる大駐車場を予定しています。

具体的には、今年の春から海洋博物館の基礎工事を始め、ホテルやショッピングセンターなどの案はその頃には煮つまつて、4月頃からは建設にかかります。一応の完成は2年後ですが、神戸港開港120年にあたる昭和62年には、メリケンパーク完成とあわせて開港記念祭を催す予定であります。

鷲田 昭和53年の当初でのメリケンパーク構想委員会はまことに楽しい委員会だったのですが、ここにおられる新谷さんのようなバンカラの方から元クイーン神戸の方から歴史の野網さん、作家の織田正吉さん、役所のえらい方々もまじっておられました。そこで神戸市民と港が段々縁遠くなつて来ている、みんなの手に港を取り戻そうという考えがまずあつたように思います。横浜には山下公園がありますが、神戸の都心に近いところでひたすらみどりいっぱいの場所への期待とか、シドニーのオペ



海洋博物館完成予想模型

ようには現在の一方通行規制を改めて検討していただきたいと思います。つまり、クルマで元町へ来るために、2号線以外にアプローチがないんですね。たとえばトアロードを北から南へ通すとか、神戸でいちばん広い南北線の鯉川筋を両面通行にするとか、山側から海岸通りへ出られるルートを開発してほしいわけです。仮りに、北野町からメリケンパークへいくには、新神戸へ出て加納町へ下がり、フラワーロードから2号線へ入らなければなりません。神戸へ観光へ来た人を案内するのしたら、私でしたら、新神戸で迎えて北野町を通り、相楽園へ行き、中突堤へ回り、それからポートアイランドへといるルートをとります。市への要望としては、東京の山手線、大阪の環状線のように電車は無理として観光バスで、北野町、相楽園、南京町、メリケンパーク、ポートアイランドと、100円で一周し、どこでも降りられる巡回バスを作つてもらえたたらと考えておるわけですね。神戸市の今後のプランニングに大いに期待しております。

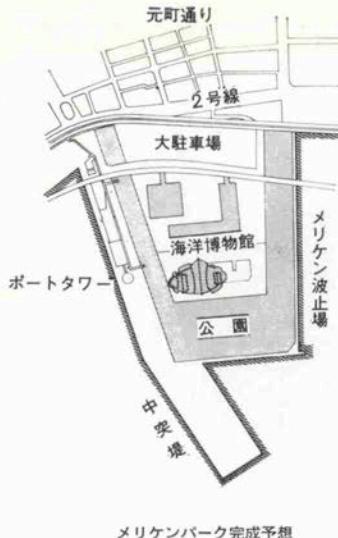
新谷 神戸は海のある街で、人間と海との関わりをもつて大切にしたいですね。神戸にはポートアイランドという素晴らしい所ができたのですが、何故、あそこへ人が集まらないかというと、規則ががんじがらめにありすぎてヒューマンリレーションを失ってしまがちなんですね。仮りに街というものを一つの作品として見れば、やはり人間性の豊かなクオーターづくりをめざすことが最優先なんですね。今回のメリケンパークでは、海洋博物館とホテル等のスペース、そして公園と3つの要素が盛り込まれていますが、これらが1つのハーモニーをもつてメリケンパークというキャラクターが生まれるわけですから、バランスよいものができますといいですね。さきほど局長に伺ったところ、ここではアトリエ解放などといいて非常に嬉しいのですが、これも徹底的にやつてほしい、たとえば芸術家部落とかです。さらに、メリケンパークはボートアイランドと違って陸つづきで気楽に歩いていけるので、新しい社交場にもなります。神戸は外国人も多い

安達 私は元町商店街の代表として、今回のメリケンパーク構想は三宮一辺倒から元町地区の復活のため、とても有難いと歓んでいます。たまたま昨年は元町誕生100年にあたり、日本丸誘致運動にも力添えさせていたきましたが、日本丸が横浜へもつていかれて結果的にはよかっただんじゃないかと考えています。というのは、誘致後の運営費は膨大な額にのぼるとかで、今、横浜市ではこのことに非常に頭を悩ませているらしいわけで、次の海王丸誘致についても、横浜の轍を踏むことのないよう、元町側でも保存方法、ランニングコスト等充分な検討と誘致運動展開に慎重に臨む決意であります。また、元町商店街の皆さんのがいちばん歓んでいますのは、メリケンパークは、市長の言わるように、元町のためのガレージだという点で、まさしくその通りなわけです。しかし、ガレージであるならばクルマの出入りがしやすい

し、ハイカラ神戸らしい、インターナショナルなコミュニケーションができるゾーンにしたいですね。そして、人と海とのロマンがよみがえるようになれば、それこそハート・オブ・コベの実現となります。

高月 私は神戸生まれで、メリケン波止場の名前にもとても愛着があるんです。それに今の仕事場が元町にある関係上、お昼休みに波止場まで歩いたりするのですが特別にあそこへ足しげく通おうとするようなものがないのが不満でもあったのです。そこが公園になるといふので、直感的には、セントラルパークとまではいかないでしようけど、面積の広さを考えても、本当に公園らしい公園ができるような気がして嬉しく思っています。日曜日には、子どもを乳母車にのせてのんびりと散歩できるような公園がいいですね。ポートアイランドは橋を渡りますのでどうしても隣りのビルへ行くような億劫さがありますが、メリケンパークは波打際にいるような、潮の匂いを肌で感じることのできる海との接点をうまくとり入れてほしいと思います。

鳥居 博物館といふものは、大英博物館にしろ、どこの国へ行っても非常に重厚な観があつて、由緒正しい遺品や歴史上の貴重な資料などの集積のイメージがありますが、そこでは声も立てられないし、とても堅苦しい感じ



で、作品を静かに考えながら鑑賞する——いいかえれば、歴史と真正面から対決しなければならないわけです。メリケンパークの海洋博物館はそうじやなくて、親子で楽しみながら子どもも見て面白くて勉強になるようなものにしたいと思っています。ここにその模型がありますが、全どのスペースを一階にしてしまって、一部分を二階にしています。二階では、'ポートピア'81のときのパビリオンのように、未来館やみどり館などの海洋開発をテーマにした映像中心の楽しいものを予定しています。つまり、まじめな博物館プラス、やや博覧会的なものの一体化です。それに今までの港湾博物館もこの一部になる予定で、この企画を進めております。

嶋田 博物館といえば、旧居留地の中心に神戸市立博物館が57年にオープンしましたが、神戸は文化的な都市として、ポートアイランドに近く完成する青少年科学館とこの海洋博物館との三館がセットとして博物館神戸めぐりも出来ますし、見所がますます充実して来ると思っております。この博物館の内容の検討会がありました。そこで船だけではなく、海洋開発から海に関することはすべて盛り込む意気込みがありました。

★市民の憩いにふさわしいミナトの生活の匂いを

安達 私たちの少年時代は、中突堤で遊ぶといえばハシケで遊ぶことだったんです。昔は波止場は石垣で、そこではカニやうなぎが手づかみで取れたり、水もきれいだったんですよ。だから、元町育ちの古い人たちはメリケンパークができると知つて、昔の神戸港を想わせるような公園づくりを期待しておりました。前のプランでは昔の神戸港がそのまま残るよう設計されており、我々は大いに歓んだのです。つまり、神戸港の第一歩を示したミナトの風景が生きて保存されるという感じで、ロマンチックなプランだったからですよ。現在の案では、それが消えて、超近代的になつてしまい残念ですね。それでも合同庁舎側に昔のビアードが一つ残っていますから、あそ

こに、ハシケや古い船などを浮かべてほしいですね。

高月 そういう泥くささ、生活感のようなものがほしいですね。

安達 飛驒高山の朝市でもモンペ姿のおばちゃんが実生活の営みとして存在するから、絵になり賑わうんですよ。

高月 屋台でラーメンがあり、ほかほかのものが公園で食べられるとなるとサラリーマンも行きますよ。

安達 生活の匂いですよ。

新谷 ヨーロッパの各地で賑わいのある都市というのは必ずオールドタウンを保存しているんですね。神戸もオ

ールドタウンを大切にしなければなりません。

嶋田 メリケン波止場は明治以後の近代神戸港の発祥地らしいふんいきがまだいさか残っているように思つて

いるのですが、それをどう受けついで古いものと新しいものの接点にこの場所があることをやはり考へないといけないでしょ。都市は古いものと新しいものの積み重ねで個性あふれるものになって行くのですから。

鳥居 先日、10年ぶりに倉敷へ行ったのですが、すっかり観光用につくり直されていてがっかりしました。というのは、日本人が何か作るとなると、徹底してきれいにきれいにと作ってしまう。潔癖症というか、あいつふうにしてしまうと風情もなくしてしまい、映画のセットみたいになっちゃう。これは大いに反省しなければと思いましたね。

安達 それにメリケンパークへのアプローチですが、現在ある国鉄元町駅の西と東の出口に加えて、中央出口を作ればいいなあと考へています。中央出口を作り、南京町へ出て、オーバーブリッヂで南下すると駐車場入口あたりへちょうど出るというルートも考えられます。

★メリケン波止場の由来を記念碑に

新谷 メリケンパークという名前で、かつてメリケン波止場がアメリカの名をとどめたものとして、歴史性を残す記念碑を立てる必要ですね。メリケンパークを

訪れた人が何故メリケンというのか知らないことは意義が半減するというものですよ。

安達 現在の噴水のあるロータリーの場所はかつて西村旅館といつてへちま俱楽部というハイカラな社交場だつたんです。このことも何かの形で伝えたいですね。

鳥居 私は元町商店街の人にお願いしたいのは、風月堂やヒロタなど元町が発祥の地で、今や全国的なお菓子があるのだから、メリケンパークにちなんだ歴史性を感じるようなオリジナル商品を作つてほしいことです。

高月 それに、オフィスの帰りにちょっと立ち寄れるという感じのナイトライフを楽しめる場づくりを考えたらしいですね。

安達 へちま俱楽部的な発想ですね。

新谷 それは面白い。国際都市にふさわしく、国際人があつまる社交場ができるといいでですね。アダルトな趣きのアミューズメントがあつて、アフターハイツにも気軽に話ができる雰囲気が作れるのはメリケンパークだけです。

嶋田 夜の神戸は最近淋しいと思っているのですが、たそがれのみなどの風景をここで味わって、ロマンチックなムードをもつて街を散策出来るような、まちとみなとが一体的になる仕掛けのひとつとなるようにしたいですね。そこで旧居留地が夜もいきいきとなつてほしい。

新谷 南京町があるので、色んな国籍の人々のスペースも生まれてきてもいいですね。

高月 神戸の人は海を見て暮らしているのに、海との関わりが失われてしまつて、今回のメリケンパークはボートアイランドよりももつと身近な気がしますね

鳥居 市民の皆さまのメリケンパークにお寄せ下さる要望と期待に100%こたえることはできないにしても、市民の一人一人のいろんな願いが込められたミナト町神戸の街の活性化の核となるような人々にとつて親しみやすい公園をと考へております。メリケンパークが人間味豊かなロマンあふれるものとなるよう、皆さまのご協力とご理解をいただきたいですね。ハトウール・ドールにて

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区港島中町 6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上勉
神戸市中央区伊藤町 121
TEL (078) 321-2111

カネボウベルエイシー株

取締役社長 稲岡必三
神戸市中央区三宮町 1丁目 9-1-807
センター・プラザ東館 8F
TEL (078) 392-2101

㈱ベニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町 1丁目 10-1
TEL (078) 332-3155

モロゾフ株

代表取締役会長 葛野友太郎
神戸市東灘区御影本町 6丁目 11番 19号
TEL (078) 851-1594



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上5社の提供によるものです。

神戸文学賞・神戸女流文学賞発表

昭和五十一年六月、本誌は有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動のいっそうの発展のため、微力を尽したいとの願いから「神戸文学賞および神戸女流文学賞」を創設いたしました。さて、第八回作品募集は昨年九月に締切り、西日本全域から多数の応募がありました。このほど最終選考を行い左記の二作品が第八回の受賞作と決定いたしましたのでここに発表いたします。

なお、授賞式は昭和五十九年一月二〇日(金)午後六時より神戸風月堂ホールにて行います。

□神戸文学賞受賞作品

「昔の眼」

服部 洋介



昭和29年8月神戸市生まれ。上智大学卒業。56年、作品集『黄色い爆弾』刊行(櫻塚社)。同年、半どんの会、及川記念賞受賞。教員。神戸市在住。
受賞のことば
私のごとき若輩が、などとへりくだれば、もはやこれまでみたないだし、私はこんなことで満足しないなどと力めば、何を若僧無礼者となりそうだ。私は、もうすぐ三十になる。世の中には物のはずみなどという便利な道具もあるが、とにかく、はずむきっかけが欲しかった。行き先はわからぬが、今回の受賞を機会に少しでもはずんでみたい。

□最終選考候補作

神戸文学賞

「昔の眼」

服部 洋介

△神戸市▽

「墨塗りの季節」

橋 啓一郎

△北九州市▽

「翔べない鳥」

小野田 潮

△大阪府三島郡▽

「恋のかげに」

西津 紀夫

△太宰府市▽

「風船でやつて来た仲間達」

大須 典子

△富田林市▽

「清姫心中新説」

橋本 朋子

△和歌山市▽

「ただ・それだけ」

佐藤 節子

△徳島県三好郡▽

「薔薇の聲音」

菊池 佐紀

△愛媛県北条市▽

「ハトの行方」

中村 澄子

△枚方市▽

□薔薇の聲音

菊池 佐紀

きくち
さき

昭和4年11月愛媛県喜多郡生まれ。松山語専卒業。文芸同人誌「原点」
「アミーヴ」同人。主婦。愛媛県北条市在住。

△受賞のことば
アマミアが小説を続けるというのは並大抵の苦労ではありませんが、日暮れで遅く、自己の才能への疑問と焦り、虚無感に苛まれながらも五年間セッセと書いて来た自分自身に、よかったですなあ、お前、と肩を叩いてやりたい。そんな気持ちです。本当に有難うございました。

□選考委員

足立

卷一

小島

輝正

島

森川

達也

京子

主催

月刊神戸つ子

●第8回神戸文学賞・神戸女流文学賞選考委員会
神戸文学賞／若い才能に期待

服部洋介「昔の眼」

神戸女流文学賞／完成された熟練の妙味 菊池佐紀「薔薇の呪足音」

選考委員

足立 卷一

（作家）

森川 達也

（文芸評論家）

京子

（作家）

本誌が創刊15周年を記念して
設定いたしました「神戸文学賞・
神戸女流文学賞」も今回で第8回

を迎えた。多数の応募作品を
基礎選考の結果、神戸文学賞に、
いては、「昔の眼」（服部洋介）「墨
塗りの季節」（橘啓一郎）「翔べな
い鳥」（小野田潮）「恋のかげ」（
西津紀夫）の4篇、神戸女流文
学賞では、「風船でやつて来た仲間
達」（大須典子）「清姫心中新説」
（橋本朋子）「ただ・それだけ」
（佐藤節子）「薔薇の跫音」（菊地
佐紀）「ハトの行方」（中村百合子）
の5篇が最終審査に残っておりま
す。

まず、神戸文学賞の方から選考
をお願いいたします。

★若い才能の未知数に期待

D 「神戸文学賞・神戸女流文学
賞」も今回で第8回ですが、文
学作品としての完成度と同時に、
タウン誌としての月刊神戸っ子に
ふさわしい「文学賞」の性格、位
置づけをそろそろ明確にしていく
ことが大切だと思うのですが。

B 選考の基準の中に、文学作品
としての完成度、筆力に加えて、
神戸のタウン誌にふさわしいカラ
ーも配慮すべきですね。

A たとえば、年齢的にも若く、
将来性のある作家がほしいです

ね。月刊神戸っ子が若い才能を発
掘してその人を見守り育んでいく
というが、「神戸文学賞・神戸女
文学賞」の方から選考をお願いいた
します。

流文学賞」設定の主旨ですから。
あつても、将来を考えると、充分

伸びる可能性があるような、未
知数の人も考えるわけですね。

B それはもちろんですが、「文学
賞」なのですから、第一に作品主
体にみて、文学といえるものでな
ければなりませんね。

D その点では、候補作4篇のう
ち、西津紀夫の「恋のかげ」は文
学として成功していない。伝説を
匂わせるような書き方は、一見書
きなれた印象を与えるけれども、
会話部分でつまづいてしまう。

B 会話が不自然です。大時代的
な言葉をふりまわすものだから、
ぎくしゃくてしまっている。



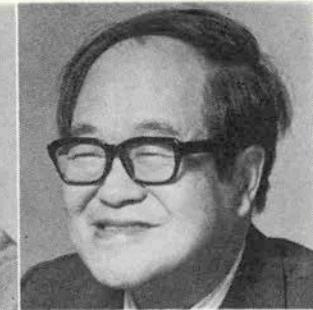
島 京子さん



森川 連也さん



小島 輝正さん



足立 卷一さん

D 橋啓一郎の「墨塗りの季節」

は芥川龍之介の「藪の中」以上の素晴らしい所もあるのですが、人物設定が類型化していく、もう一つ魅力に欠けるんです。

C 一応の水準には達しているといえます、小野田潮の「翔べない鳥」の方が魅力があります。

A その点には異論はありませんが、「翔べない鳥」の結末はちょっとだけません。あまりにも通俗的すぎる気がしますね。会話も一応うまいし、語り口が読ませるものにまで出来上がって、実力のある人ですが。

B 私もそう感じましたね。

D この作品で面白いと思ったのは男性作家が女性を主人公にしている点です。今までにもこういう作品はありますが、これは新しい感覚で書かれている気がします。少しキザですがね。

A 文章も書きなれた感じです。

C 小野田潮は小説的技術は達者だと思いますが、文章にあまりにも無駄が多いんですね。行動を描くにも一つ一つ細かく描写していくこれが効果を發揮していない。映像を意識しているのかもしれません、むしろマイナスですよ。

B 主人公が昔に強姦されたという設定になっていますが、何故そ

んな設定をする必要があるのか納得できません。

C あれもこれもストーリーを絡めていくから、後半の4、5枚で結論を急いでしまって面白くなくなってしまったんです。

B 服部洋介の「昔の眼」は、斜視を材料にしていますが、前に発表した「黄色い爆弾」でも同じ斜視の話でしたね。

A もとVICKINGにいた人でしょ。

C この人は多作だけに荒っぽいんですよ。

A 先天性内斜視は切実な悩みだけに説得力がありますが、構成についてもやや図式的だし、表現がオーバーです。

D 女の子ができますが、これがどうしようもない、女が描けてないといいますか、苦しい所ですけど、この人は自分でひたむきにもの事を考えようとしている所が非常にいいんです。自分なりのものがあつて、それが文体になつて表われてきている点がいいですね。

A 兄の死とか、母親の胎教など作者の自己体験に基づくストーリーづくりはリアリティがあつて読者をひき込むんです。

B 会話がいいなと思ったね。

D 服部洋介は29歳で、乱暴な所が気になるけど、若い新人として

は将来性はあるわけだ。

A 小野田と服部とでは、比較相対の問題で、どちらが特に素晴らしいというわけでもないな。

C 「昔の眼」はいわゆる青春物燃焼といらか、青春の香りがしない。文学をやる人ならもう少し考え方で、青春を描いていて若者らしいえ直してほしいですね。

B 勢いにまかせて書いたという点が気がかりだな。これをどう打開するかが今後の大きな課題だ。

A 色んな欠点が目立つのですが、若い服部洋介の今後の文学的精進に期待したいですね。

B 神戸文学賞は「昔の眼」に決定しましょう。受賞を機として来春にはもう一段階成長した服部洋介に期待します。

★女流に新しい感覚の芽ばえ

C 「ただ・それだけ」は作者の思い入れが先走りしてしまって、故郷を命題としているのはよいけど思考停止した感がありますね。

B 私はこの作品はよくわからなかつた。確かに美意識はありますが、文学とはいません。

D 「清姫心中新説」は、文学以前ですね。テレビドラマのミステリー物みたいな気分で書いています。

B 「ハトの行方」は堅少なタッチね。

C この人は何を訴えたかったのか、わからない。消化不良です。

B 作品の完成度としては菊池佐紀の「薔薇の登音」は抜群ですね。この人は以前にも応募してきましたベテランでしよう。

D 第一印象で興味深かったのは大須典子の「風船でやつて来た仲間達」です。

C これは一種の記録物ですね。

A 文学という前提をぬきにして考えると、外国人と日本語教師とのやりとりは、事実としての面白さが読者をひきつけます。表現は粗雑だが題材の面白さとユーモアがあつて、とても好感をもしました。これは新しい感覚です。

D 53歳の菊池の感性では絶対に生れないものですね。

A 外国人も出てきて国際都市神戸のタウン誌には非常に溶け込みやすい作品かもしれません。

B この調子でならいくらでも書けるでしょうね。

C 日本人が外国人を相手にすれば意外性やハプニングは実生活にはたくさんありますから。

D ただ、大須が新しい感性で描こうとしていることは確かなんですが、さてこれが文学としてどうかとなると疑問です。つまり、風俗の描写で終っているんですね。

C 「薔薇の登音」は今日的な近親相姦をテーマとしているながら、

読者の胸にこたえる問いかけがないので、やや破綻をみせた所かなと思ったんですが。

B ストーリーづくりについてはたんねんになっています。そこがうまいなと思われます。

D しかし、近親相姦というのは社会的なモラルに挑む部分もあるのだから、行為を表現してそこから人間のあり様を訴えることも大切でしょう。

D 近親相姦というテーマは実は今日的でもなく新しいテーマでもないですね。それが作者の感性の古さだけれど、その古いという所で完成されているために充分読ませるものに成功しているんですね。

A 描かれている人間にはそれぞれ実在感がありますが、菊池佐紀には新しいものはのぞめませんね。その点が残念です。

B 非常に古い感性ではあるがすでに完成された熟練のうまさがある。これは、「風船でやつて来た仲間達」の大須典子とは対照的です。大須は白紙で落書きして出された答案のようなもの、一方、菊地は優等生の答案だといえます。

C 神戸女流文学賞は菊池の「薔薇の登音」で決定となります。大須典子の新しい感性が今後、どのような形で開花するか楽しみです。

業界の振興に力を尽したい

大月真珠



大月真珠

神戸で九ミリ玉の真珠を扱い出したら、早速、フランス人のバイヤーが分けてくれと言つて来ました。それで、品質のいい玉ばかりを買い集めて輸出をやつしていました。

——その頃から神戸は真珠の取り引きが盛んだったのですか。

大月 中国人やインド人、イタリア人なども珊瑚や天然真珠を買って商売をしていましたが、その中心が神戸だったんです。そのうちにネックレスにして送つて欲しいということになり、まあ、日本で一番いいネックレスをつくつて輸出をしました。

——大月さんはヨーロッパとの取り引きが主力ですか。

大月 そうですね。やはり長いですね。フランス、ドイツ、イタリアなど、みな古い取り引き先です。

そういうそう、五、六年前にフランスのある取り引き先を訪ねたときのことですが、五十年前に私どもから買ったというネックレスを見せてもらつたんです。それが、自分で言うのも何ですが、品質が全然變つてない。年代が経つと、普通は多少は品質が落ちるものですが、やはり品質のいいものは、何年経つても変わらない。寿命が長いということを再認識いたしました。

——それは素敵なお話ですね。ところで、お父様の跡を引き継がれましたのはいつですか。

大月 父が亡くなつたのが昭和三十九年です。もつとも神戸の商売は私が二十五、六歳の頃から始め、兄（大月成男氏）が養殖の方をしていたので、おやじはあまり商売をやつてなかつたようですね（笑）。

——大月真珠の創業はいつですか。

大月 昭和五年に父親（故・大月菊男氏）が始めました。最初は愛媛県で真珠の養殖をやつていたんです。当時、大玉を作るのは難しかつたのですが、製法特許をとつて最高品質と言われた九ミリの大玉をつくつていました。

——それから神戸へ出て来られたわけですね。

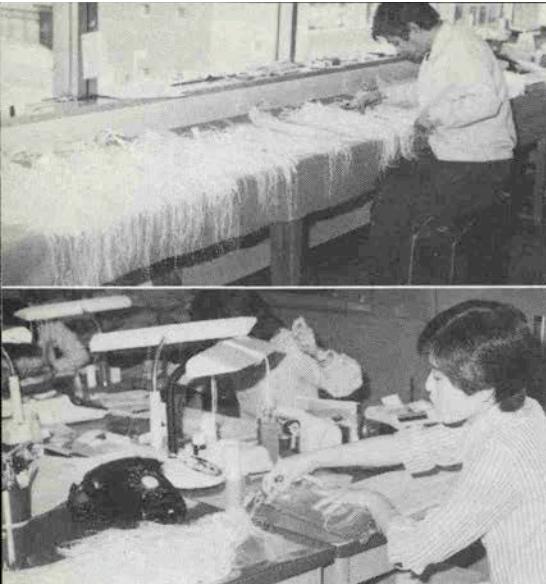
大月 そうです。丁度、加納町の辺で営業を始めました。

——その間、いろいろと苦労もおありだったと思いま
すが。

大月 私がやり始めた頃は、真珠の生産業者の数が少
かったものですから、注文を受けても、あわてて買い集
めることが多く、相場に左右されたりもして、いろいろ
と苦しみました。つくづくと在庫を安定してもたないと
いけないと痛感しました。安定供給が輸出でまず最も重
要なことです。これは何も真珠だけではなく、すべての
商売の大もとですね。

実は、戦争中、父は日本中の真珠を集めて合同真珠を
つくっていたのですが、戦後、それは独占企業になると
いうので閉鎖されました。つまり、戦後において一から
の出発を余儀なくされたわけです。ヨーロッパは真珠に
対する理解が歴史的に深いのですが、戦後、アメリカに
も真珠に対する関心が高まつて來た。そこで、これから
は真珠の輸出産業として取り組もう、しかも同じことな
ら業界のトップになろうという意気込みで出発したわけ
です。そのためには、今言いました安定供給が何よりも
必要だと考へて、それに力を入れて來ました。もちろん
在庫をかかえている以上、あるいは値下がりをしたら
お聞かせ下さい。

大月 真珠はブランド商品ではありません。ネックレス
に"大月"というシールを貼ることは出来ない(笑)。
ですから、私は、業界全体がよくならないで、自社だけ
の繁栄はないと思っていました。個々の企業が、背伸びを
することなく、内容の充実をはかり、健全な体質を維持
する努力をすることによって、はじめて自社も業界も榮
えて行くのだと思います。今回、藍綬褒章を戴いたこと
でもあり、業界振興の一つの基盤となる役割を担つて行
きたいと、こう考へております。



大月真珠本社にて

損をするのでは、という不安もありましたが、世界に女
性のいる限り絶対に大丈夫(笑)という気持ちをもつて
今までやって來たんですよ。

——確かに真珠の人気には根強いものがありますね。
大月 それでも昭和四十一年頃ですか、一時、飽和状態
になったこともあります。それ以来、生産をその当時
の三分の一にまで下げ、現在は需要に見合った供給を計
画的に行っています。

——真珠が受ける要因はどこにあるとお考へですか。

大月 そうですねえ。もちろん業界全体としてのビー
・アールもありますが、一つは、フォーマルな使われ方
だけではなくて、カジュアルななかに、センスのいいも
のを加味しようという傾向になつて來ているようです
ね。その意味で真珠が受けているんじやないでしょうか。
——真珠は永年、女性にとって憧れの的であるわけで
すが、真珠を手にされる女性へ何か一言…

大月 これは、苦手だ。女性心理は、どうもよく分らな
い(笑)。でも、これだけは言えますね。真珠は、本来
その方のもつ美しさの引き立て役です。真珠を自分のな
かにとけ込ませるように、さりげなく使つて欲しいです
ね。いや、これぐらいで勘弁して下さい(笑)。

——有難うございます(笑)。最後にこれから抱負を

SERIZAWA WINTER COLLECTION '83-'84



余韻、ワンフレーズ。

美しい時間、操りましょう。

モードはマジシャン。

女たちの風景に鮮烈な刻印をつけるのだから。



serizawa
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.(078)331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■メンズセリザワ KOBE, OSAKA, TOKYO, KYOTO, HIMEJI

XL

関西ではじめてのルイ・ヴィトン直営店、 神戸に誕生。

ルイ・ヴィトン神戸直営店

神戸市中央区元町通り3丁目4番9 TEL.078-391-3261(直)

まだ旅というものが、王侯貴族を中心とした限られた人々だけの贅沢なものであった時代から海外旅行が身近なものとなった今日に至るまで、つねに旅行鞄の基準でありつづけてきたルイ・ヴィトン。1854年の創業以来、ルイ・ヴィトンが製品づくりに注ぐその頑固なまでの完璧主義は変わることはありません。現在日本においてルイ・ヴィトン本社と契約を交わしている正式なブティックは、9月10日に誕生した神戸直営店を含めて16店舗。これら私どものブティックのみが、豊富な品揃え、パリ本店で研修を積んだ商品知識豊かなスタッフによるコンサルティング、そして、優れたアフターケアとルイ・ヴィトンの完璧主義に基づく一貫したサービスを、提供することができます。しかし最近、巧妙な販売手法でニセ物が多数売られており、不幸にもその被害にあわれた方も多いようです。心貧しいニセ物づくりの手で汚された、まがい物やコピー商品であなた自身の手を汚さないためにも、さらにルイ・ヴィトンの比類のない品質、妥協のない精神、所有する本当の喜びを知っていただくためにも、ルイ・ヴィトン製品は、ルイ・ヴィトン ブティックにて適正な価格で安心してお求めいただくようお勧めいたします。関西地区ではじめてのルイ・ヴィトン直営店が、神戸元町にオープンいたしました。ぜひ一度、お立ちよりください。



MAISON FONDEE EN 1854

●コピー商品の製造はもとより、コピー商品をコピー商品として販売することも、法律により禁じられております。



ルイ・ヴィトン本社と契約を交わしている正式なルイ・ヴィトンブティックは以下の16店です。

札幌:丸井今井札幌本店
TEL.011-281-1151㈹

横浜:横浜高島屋店
TEL.045-311-1251㈹

神戸:神戸直営店(元町通93丁目)
TEL.078-391-3261㈹

東京:銀座直営店(並木通9丁目)
TEL.03-574-0507㈹

名古屋:松坂屋名古屋本店
TEL.052-251-1111㈹

広島:福屋八丁堀店
TEL.082-246-6111㈹

高島屋東京店
TEL.03-211-4111㈹

京都:高島屋京都店
TEL.075-221-8811㈹

博多:高島屋サンローラン博多店
TEL.092-713-8166㈹

高島屋サンローラン赤坂店
TEL.03-239-3413㈹

大阪:アン・ロイヤル阪急17番街店
TEL.06-371-1061㈹

西武百貨店池袋店
TEL.03-981-0111㈹

アン・ロイヤルホテル日航大阪店
TEL.06-245-5252㈹

西武百貨店渋谷店
TEL.03-462-0111㈹

高島屋大阪店
TEL.06-631-1101㈹

西武ビザ大阪ロイヤル店
TEL.06-445-1290㈹

●KOBE EXCELLENT SHOP 〈神戸シャツ〉

熟練スタッフによる入念な手づくり



川崎社長を囲む生産部のスタッフ



布地は型紙をあてて包丁でこのよう
に裁断される

西日本地域の注文は全てこの
研究所で生産され 東日本
地域の受注は中野の東京
工場で賄われ、両者で年間
5万枚が生産される。

繁雑な型紙の保存につい

神戸シャツ支店

日本橋店／東急日本橋店2F

TEL 03-2111-0511

渋谷店／東急本店4F

TEL 03-4771-3433

吉祥寺店／東京吉祥寺店4F

TEL 03-4221-2153 61

東横店／東急東横店3F

TEL 03-4771-4406

広島店／福屋5F

TEL 0822-461-6549

札幌店／さっぽろ東急4F

TEL 011-212-12618

神戸シャツカラー 研究所を訪ねて

空気の良い六甲山麓、青
谷に100坪の敷地を有する“神
戸シャツカラー研究所”が
生産部の10余名のスタッ
フは、製図・裁断・縫製・

穴かがり、釦付け・仕上げ
検品の5段階に分かれ、作
業をすすめている。

ハサミでなくよく研磨され
た包丁で裁断する。縫製は
別室でミシン掛けされ、釦
付けは女性スタッフによつ
て入念に。この道30年以上

のベテランスタッフによつ
て最後の仕上げが完了する。

東日本地域の注文は全てこ
の研究所で生産され 東日本
地域の受注は中野の東京
工場で賄われ、両者で年間
5万枚が生産される。

物資が豊かな昨今に一枚
ずつ手縫いのシャツは心の
こもった贈答品だろう。



ミシン掛けも一針ずつていねいに仕立てら
れていく(縫製部屋で)

謹賀新年

ハイカラ神戸の
伝統が育んだ
格調ある専門店

●このシリーズはファッション都市KOBEへの
私たちの願いをこめて…

★よろず御縫衣縫上處

神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★世界のオシャレをお届けする

ウネ KOBE LINE

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

★オートクチュール

エスター・ニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★婦人帽子

マキシム マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★舶来品ブティック

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737~9



あけまして おめでとう ございます

1984年 元旦



兵庫県文化賞受賞の家元・成瀬香梅



祝辞を述べる小原豊雲氏



左より副家元補佐・成瀬諒三、家元・成瀬香梅、会長・成瀬鶴香、副家元・成瀬香泉

知 真 調 和

盛 物
いけばな

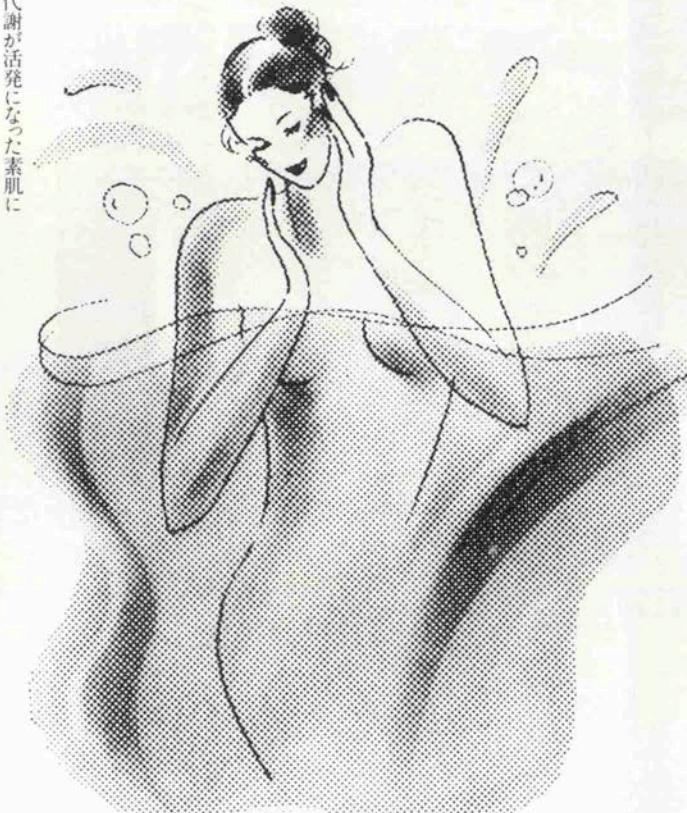
知 香 流

宗家 成瀬香桜 家元 成瀬香梅 会長 成瀬鶴香 副家元 成瀬香泉

●本部 神戸市灘区深田町2丁目3-4 TEL 851-8113 ●国鉄六甲道駅前 メイン六甲Bビル303-6 TEL 851-3305 ●神戸新聞文化センター(KCC)

神戸新聞会館9階 TEL 221-9557 ●神戸新聞文化センター姫路支部 姫路市本町69 TEL (0792) 22-4320 ●兵庫県民会館 県庁東側606号

▼爪の先まで、さくらいろ。



サウナで新陳代謝が活発になつた素肌に

ハーブ(薬草)サウナと

ハーブ(薬草)バスの薬効が

ふかく、しみるようです。

お正月は、神戸レディスサウナ。

サウナコース	1,900円
学生割引	1,600円
回数券(5枚つづり)	7,600円
ピューティーマッサージ	2,800円
全身美容	3,500円~7,000円
美顔	4,000円~5,500円

■サウナ

- ハーブ(薬草)サウナ
- 冷水超音波バス
- 温水バイオラバス
- ハーブ(薬草)バス
- マッサージシャワー

サウナとエステティック 神戸レディスサウナ

神戸三宮・生田新道ワシントンホテル向かい

TEL.078-321-4741

営業時間 朝10時~夜3時 年中無休



元旦より営業しております

1月1日~4日 / 正午~夜1時(受付は12時)

1月5日より平常どおり / 朝10時~夜3時